

似梅莖紫色、煮汁極滑、堪噉、兔葵重見草類、

〔倭名類聚抄^{二十}〕兔葵 本草云、兔葵和名以倍仁禮

〔箋注倭名類聚抄^十〕蜀本圖經云、苗似薺、春末生、高三二尺、花黃、角生、子黃細、五月熟、圖經初春生、苗葉高六七寸、有似薺、根白、枝莖俱青、三月開花、微黃、結角、子扁小、如黍粒、微長、黃色、

〔類聚名義抄^八〕兔葵 イヘニレ

〔東雅^{十三}〕兔葵 イヘニレ イヘとは家也、なを芋をイヘツイモといふが如し、ニレとは滑かなるをいふなり、その煮噉ふが極めて滑なればなり、楡をニレともヤニレなどもいひ、薺花をハマニレといふも、皆これ其滑かなるをいふなり、即今俗にトロ、といひて、紙を作る料となし、其涎滑を取る、黃葵といふものも又此類なり、

〔庖厨備用倭名本草^五〕菟葵^略 元升[○]向[○]曰、吾人モ古ニハ菟葵ヲ食シケルニヤ、倭名抄菜ノ部ニ入タリ、今人ハ食スルモノナシ、其名ヲダニシル人ナシ、田夫ニトヘバ答テ云ク、下澤ノ田間

ニフキニ似テチイサキモナアリ、葉ノウラニ毛アリ、色アヒモフキノ如シ、秋白花ヲ開キテ梅ノ如シ、其名ヲシラズ、食スルモノモナク候ト云、イエニレハ是ナランカ、又按ズルニ雪ノシタト云アリ、又キシンサウトモ云、其ノ葉フキノ形ニ似テ面アラクウラ紫ニ、莖モ亦ムラサキニシテ、莖葉トモニ毛アリ、大キナルハ高サ四五寸、

〔大和本草^七〕一花草 葉ハツタニ似テ莖ノ長二寸バカリ、冬小寒ニ始テ葉ヲ生ジ、立春ノ朝花忽ヒラク、一莖ニ一花ヒラク、花形白梅ニ似タリ、夏ハ枯ル、他地ニウフレバ花ノ時チガフ、

〔重修本草綱目啓蒙^十〕菟葵 イヘニレ和名抄

集解ニ説トコロ一ナラズ、大抵三種ニ別ツ、恭ノ説トコロノ者ハ和名セツブシナウ、一名一花草、筑山足或ハ原野ニ生ズ、小寒ノ候、舊根ヨリ一莖ヲ抽ヅルコト一寸許リ、其梢ニ一葉アリ、白頭翁オキナゲナガ